

114
A3095

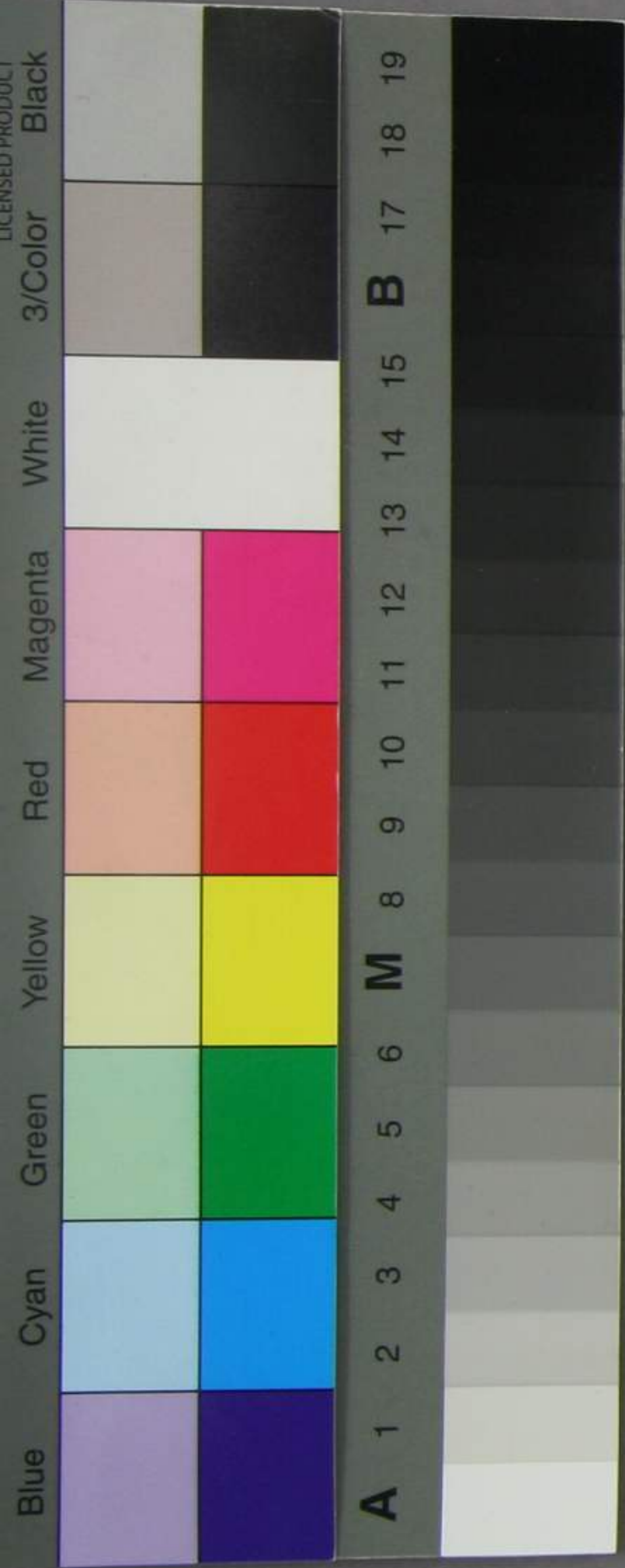


千八百八十一年二月四日刊行「ヘラルト」新聞抄譯
千八百八十年(明治十三年)ノ横濱商法會議所要件
拔萃

峯源次郎
堀達
合譯

大正十一年四月贈
天正
限
儀
前
部
寄
贈

一 昨日午後横濱商法會議所ノ例會ヲ開ケリ而
會議ノ草案ヲ朗讀セリ
一 久シク決定ヤスシテ問題トナリタル海關稅目改正
案ヲ更ニ討議スルハ最モ至要ノ事件トフ但シ此事
件ハ昨年中既ニ當會議所ノ注意ヲ要セシ所ノモノ
ナリ
一 千八百八十年(明治十三年)二月五日「ジャッパン、ヘラル
ド」新聞ニ登録ヤシク日本政府ヨリ申シ出サレタ



ル海關稅目ハ當會派所委負ノ注意スル所ナリシ然
レモ其事ニ付キ確乎タル官報ナカリシカ故ニ之レ
ニ意見ヲ付スルヲ果サ、リキ然レモ六月十九日
ニ於テ我カ大英國代理公使ヨリ右新聞紙ニ記ヤル
カ如ク我カ商法會議所ノ意見ヲ開陳ス、キ旨申シ
来レリ茲ヲ以テ初テ商法會議所ハ其意見ヲ開陳シ
リ

一 日本紙幣下落ノ事

十月三十日一封ノ書狀アリテ我カ代理公使ヨリ到
来セリ但シ日本紙幣下落ノ為ニ惡果ヲ商會上ニ及
ホセシ件ニ付テ兵庫大阪商法會議所ノ意見書ヲ封
入セリ且ツ石件ニ付テ猶ホ我カ商法會議所ノ意見
ヲ開陳シ、ン、ト、ヲ、申、シ、タ、レ、リ、下、條、ノ、書、狀、ハ、ケ、ン、子、デ

レ、氏、ヨ、リ、落、手、ス、モ、ノ、ニ、シ、テ、同、氏、カ、大、隈、公、ニ、面、晤
セ、レ、タ、ル、時、ノ、談、話、ハ、始、終、ナ、リ

一 右大藏卿按スルニ大隈ノ政策タル紙幣ヲシテ銀貨

ト並價ニ至ラシムル丈ニ正貨ノ準備額ヲ増殖スル
ノ處置ハ大ニ服膺ス、ヘ、キ、政、策、ナ、リ、但、シ、大、藏、卿、カ、現
今ノ紙幣下落ノ原因ヲ以テ一ニ貿易ノ不平切、歸
セラレタルハ我カ商法會議所ノ大藏卿ニ左袒スル
能ハサル所ナリ

一 紙幣下落ノ件ニ付キ我カ商法會議所書記役ノ朗讀

スル所ノ「ケン子デ」氏ノ書狀左ノ如シ
去月二十六日ノ貴翰ニ付テハ拙者昨日前以通信
約束ノ上大藏卿ヲ訪ヘリ而シテ數時間日本實際
ノ財政并ニ商況ヲ討論セリ但シ今ヤ日本ハ紙幣

大藏省

ノ價格ニ於テ非常ノ動揺ヲ起シ為ニ貿易衰頽シ
殊ニ日本全國ノ人民困難ヲ極メタル所ナリ
大隈公ニハ現今外國貿易ノ衰頽不利ナルヲ慨歎
シ此衰運ヲ挽回センカ為ニ大ニ鞠躬盡力セル所
ナリト語ラレタリ且ツ大隈公ノ説ニ據レハ過シ
ニケ年間日本政府ハ一千二百万両ノ紙幣ヲ引キ
揚ケ之レニ代ヘテ右同額ノ正貨ヲ流通ニ出セリ
ト語ラレタリ而シテ又タ此等處分ノ為ニ政府準
備金額ニ非常ノ減縮ヲ來シ而ルニ貿易上其勢力
ヲ挽回スルノ利益ナクシテ右準備金額ノ減縮セ
シカ故ニ更ニ新策ヲ採用シテ大ニ諸官省ニ節儉
ヲ行ヒ政府所屬ノ工業ヲ拂下ケ人民ニ貸附タル
金額ヲ取リ定メ等總テ銀貸ト紙幣ノ並價ヲ未タ

ス為ニ始終準備ノ正貨ヲ増殖スルコトニ盡カセラ
レタル趣ナリ
右ノ点ニ於テ大隈公ノ言ニ曰ク三年前迄ハ準備
ノ正貨三千万両以上ニ至リシモ今ハ減シテ正貨
ニテ一千二百万両ト紙幣ニテ凡ソ三千万両ヲ有
セリ尤モ此外諸所ニ貸附タルモノ七百一十
ト而シテ大隈公ノ冀望ハ紙幣一億万両ヲ以テ日
本國ノ需要高ト積リ十ケ年間ニ正貨凡ソ五千万
両ヲ準備シテ以テ此一億万両ノ紙幣ヲ流通ニ置
カントノ事ナル由ナリ
貿易ノ平均云々ニ關シタル貴下ノ意見ニ付テハ
大隈公ハ貴下會議所ノ説ト反對説ニシテ紙幣ノ
下落ハ全ク日本ノ外國ニ於ケル貿易ノ不利ニ出

ツルト云フ持論ナリ而シテ又夕同公ニハ近年輸
入輸出ハ超過スルヲ平均凡ソ一千万弗ナリト云
ハレタリ而シテ又夕過シ六ヶ月間ハ日本ハ輸入
ノ為ニ外國人ノ收納スル金額ハ日本ヨリ輸出ノ
為ニ外國人ノ支出スル金額ヨリモ毎日平均三万
弗ヲ超過セリト語ラレタリ
^約束ニ於テ猶ホ貴下會議所ニ陳述スヘキコアリ
即チ大隈公ニハ商業理財等其權内ノ事ニ付ニハ
十分ニ陳述スルヲ得ヘシトノコナリ且ツ又夕
同公ニハ現今貿易ノ衰頹ニ付テ日本ハ政府人民
共ニ外國人ヨリモ格別災害ヲ蒙ムルカ故ニ此衰
頹ヲ挽回救済スルノ方法ヲ發見センコトヲ苦慮憂
心セル旨ヲ述ハレタリ拜具

東京英國公使館

千八百八十年十二月三日

横濱商法會議所議長エフ、デー、フ、ン、ゲル、足下

マクフ井ルソン氏問テ曰ク委員ハ此事ニ就キソ商議
タル所アリシ乎
議長之ニ答テ曰ク委員ハ此書翰ヲ領シテヨリ大ニ此
失シタル色アリテ只各自ノ所存ヲ演了シ遂ニ此事ニ就
キケ子デー氏ヲ煩ハ無益ナリトセル外別段商議ヤル
コナシ
マクフ井ルソン氏又曰ク近來所謂貿易不平均ナルモノ
其衝ヲ轉シ輸出輸入ニ超過スルニ至リタレハ委員ハ再
ニ書ヲ公使ニ呈シテ紙幣ニ或ル一定ノ基礎ノ樹テシ
ノ願意ヲ政府ニ以テセンコトヲ欲スルナリ

議長曰ク是ハ一動議トシテ後チニ論ス可シ

マクフ井ルソシ氏又化學的製造品輸入ノ事ニ就キ所見ヲ演ヘテ曰ク我々外人カ化學的製造品ヲ輸入スルヤ常ニ外人居留地外ニ設置アル日本政府ノ検査館ニ之ヲ效タシ一々點檢ヲ請ハサルヲ得ス而シテ點檢ヲ乞要スル者ハ多ク購求者ナル日本人ニアルヲ以テ我々外商ニ大ニ係累ナキト雖モ輸入者カ若シ検査館ニ效ストセハ萬一火災ニ罹ルキハ保險ナキカ故輸入者ノ冒險ナリト可ラス故ニ余ハ此事ニ就テ改良スル所アリト欲スルナリ

此間議長改撰等ノ事アレバ今爰ニ要ナキヲ以テ畧ス

マクフ井ルソシ氏曰ク紙幣一落ハ必ス輸入ノ輸出ニ超

過フルノ故ニアラス唯紙幣ノ信用ヲ失フタルニアリ故ニ

余ハ公使ヨリ大隈公ニ近刊ノ輸出入統計表一部ヲ寄セ以テ現今輸入ノ輸出ヨリ寡少ナルヲ注意ヲ喚起セシトテ公使ニ乞ハントス實ニ近來輸入減縮ニシテ輸出増加ヲ告ク此時ニ方テ紙幣ノ價格宜ク恢復ス可キニ及テ下落スルハ素ト何ノ故ソヤ是レ豈ニ大隈公ノ所見ノ相ニ齟齬スルモノニアラスヤ
ドール氏之ヲ賛成シテ曰ク今論者カ云フ所ノモノハ絶ニ過シニケ月間ノ高況ヲ取テ證據トサル、故十分ナル經驗ト謂フ可カラスト虽モ現時期ハ毎ニ一年中ニアリテ輸出ノ甚々遲鈍ヲ極ルノ時ニシテ輸入ノ頗ル活潑ナル期トス是レ余カ敢テ賛成スル所以ナリ
マクフ井ルソシ氏ハ外負ニシテ斯ル事件ヲ議場ニ提出セル

ヲ悅謝シテ曰ク客年我カ委負カ紙幣下落ニ因テ輸入品ノ價值平價ヨリ三割ヲ加ヘタリト報セシヨリ今日既ニ一倍ノ多キヲ加フルヲ見ルニ至ル而シテ全國是カ為メ困頓疲弊ヲ極ルヤ疑ヒテ容レサル所ナリ實ニ余輩ハ親シク各處ニ於テ人民カ痛ク困窮スルノ状且ツ人民カ五穀甘薯ヲ始トシ百般ノ物價益々騰貴スルハ皆テ紙幣ノ益下落スルニ相ヒ牽連スルヲ知ルヲ聞知ス又此項橫濱ヲ首トシテ各地ニ紙幣相場ナル賭博盛ニ行ハルハ是レ最モ國家ニ對シテ不利ニシテ且ツ内地商業ノ善良ナラサルヲ表スルモノナリ余政府ノ為ス所ヲ熟視スルニ政府ハ人民ノ為メニ孜孜經營シ止マサル事業ノ内ニモ殊ニ道路ヲ改良シ火災ヲ防禦スルヲ如キモノニ至テハ實ニ空シク貿易不平均ナルモノ、紙幣ヲシテ今日ノ極度

ニ陥キラシメタルトノ證據ニ及ツトシテ搜索シ或ハ海關稅則ヲ五分若シクハ一割ノ値上ケヲ為シテ就キ置カトシテ論スルニ勝サルヲ千万ナリ
ダンロップ氏曰ク今ヤ各處道路成ルヲ聞ク是レ誠ニ政府ノ為メニ賀慶ス可キノコトナリ
ワットソン氏ハ先ニ「マクフナルソン」氏カ輸出ノ輸入ニ超過スルヲ論ヤシテ曰ク同氏カ輸出ノ超過ヲ引證セルモノハ絶ニ近頃ノ事ニ係リ恐ラクハ六週日或ハ二ヶ月許ノ經驗ニシテ其時日ハ未タ輸出ノ愈々輸入ニ超過スルヤ否ヤヲ確認スルニ餘リアルモノニアラス今若シ貿易ノ針路此有様ニテ数月ニ涉ラハ紙幣ノ價格上一大改良ヲ觀ル可キハ言ヲ待タスシテ瞭ナリト虽モ固ト事ノ因テ此ニ至ル以所ノモノハ深且ツ大ナルニ

依リ苟モ此貿易ニシテ之カ濟救ノ法ヲ忽カニセハ一端
恢復ニ向ヒシモノモ倏忽々後退シテ再ヒ不振ノ淵ニ陷
井ルハ自然ノ理ナリ大隈公ハ既ニ幣害ヲ受被スルモノ
ハ内外共ニ相ヒ同シキヲ認知セラレタル如シ是レ同公
カ早晚救濟方法ヲ編出スルノ望マシキ徵候トス且ツ頃
日聞ク所ニ據レハ政府ニ於テ荐リニ之カ救濟ノ方法ヲ
計畫サル、由ナレハ其方法施行ノ日ハ蓋シ遠キニアラ
サル可シ

譯長曰ク余ハ大隈公ハ一ニ紙幣下落ヲ貿易不平均ニ歸
セラル、ヲ知ル且ツ余カ推察ヲ以テスレハ此等ノ言ヲ
作ス所以ノモノハ全ク我カ貿易ヲ攪乱傷壞センカ為メ
ニ出テタルモノニシテ最初当路者カ演說等ヲ以テ人民
ヲシテ其心肝ニ此等ノ言ヲ浸銘セシメタルニ外ナラス

今日ノ禍害ノ源因ハ紙幣濫發ヲ捨テ、他之レアラズ固
ト之ヲ準備アリテ發スルアラハ事此ニ至ラサルハ必ス
ト雖モ準備モナク又人民ヲ満足セシムルニ至ルノ公證
モナクシテ紙幣ヲ濫發シタルモノナレハ事ノ至ニ至ル
カ恠ムニ足ラス實ニ大隈公親ヲ紙幣下落ハ全ク公信ノ
欠乏ニ據ルモノナルヲ話サレタリ故ニ今政府此下落
ヲ挽回スルニ足ルノ改正ヲ人民ニ證示セハ紙幣ハ幾ク
ナラスシテ恢復ノ道ニ就クヤ明ケシ然ルニ大隈公ハ紙
幣下落ハ外國品輸入ノ果ナリト謂テ一步モ動カレス是
ヲ以テ余輩ハ我意ニ逆フノ人ヲ說破セント欲スルノ念
ヲ最早之ニテ絶ツ可シ

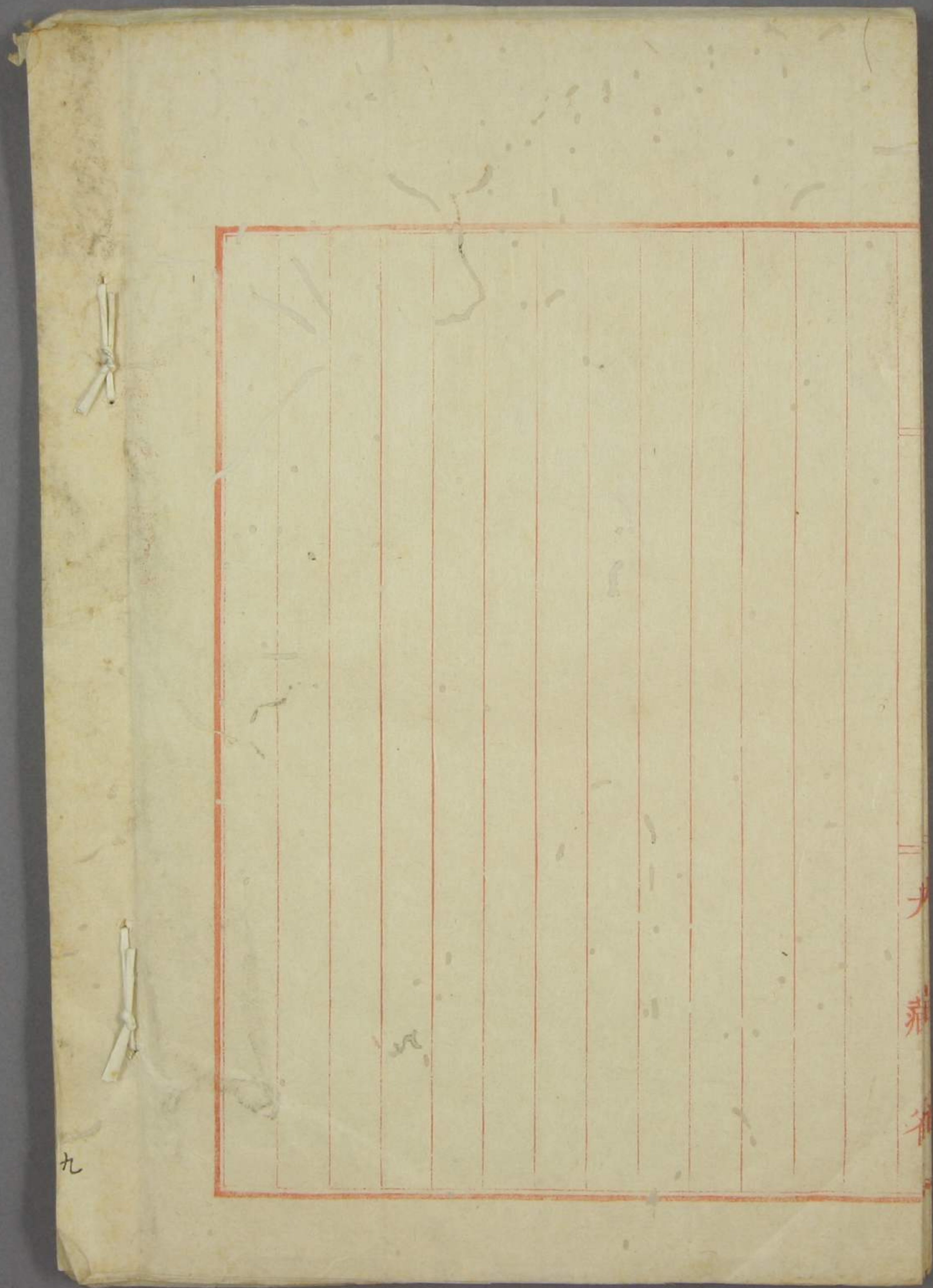
ワツソン氏ハ議長ノ說ク所不同意ナリト謂ツテ前說ヲ
主張シテ曰ク今日大難事トモ謂ツ可キ一大原因ハ貿易

不平均ヨリ他アラズ而ノ流通紙幣ノ額ハ未タ饒多ナリ
トマス尚ホ増發スルモ不可ナキナリ蓋シ國家ノ要需未
タ不足ナレハナリ而ノ其難キトスルモノハ紙幣ノ饒多
ナルニアラス紙幣ハ貴金屬ニ比シテ饒多ナルヲナシ故
ニ紙幣ノ饒多今日ノ原因ニアラス實ニ正金監出日本買
易ノ不平均ヲ釀シタルナリ夫ノ紙幣發行未タナカリシ
時ノ回顧セハ日本國ハ殆ント破産ノ景状ヲ帶テ居タリ
シニ然ルニ今ヤ負債ハ一方ニ聚結シテ先キノ不祥ナル
景状ハ公債証書及テ紙幣ノ發行ト共ニ消散シ去レリ且
ツ今ヨリ数年前ニ抵ルマテ家祿ナルモノアリハ處刑等
ノ事故ナキノ外子父ニ嗣テ之ヲ領シ世襲セシモノアリ
シニ其制一革シテ家祿高ノ十分一ヲ給スルヲトナレリ
蓋シ此等ノ慮置ハ萬國觀サレ所ナリ故ニ紙幣發行ハ政

府業已ニ舉行シタル事業ニ相比敵スルモノニシテ而
モ今ヤ其紙幣ハ貿易ヲ獎勵スルモノナリ
ウヰルキン氏之ヲ駁シテ曰ク先年政府カ家祿ノ制ヲ一
革セシ處置ハ必ス才識アル理財家ノ行為ト稱シ可カラ
ズ寧ロ其行為ハ點惡ニ近カシ故ニ此ノ如キ事ハ服膺ス
可キヲニアラス苟クモ斯ル権カヲ有スルモノニシテ容
易ニナシ得可キ事ナリ又ワットソン氏カ陳述セラレタル
如ク紙幣ノ發行未タナカリシ際ニ方テ日本國カ破産セ
シナラハ其状タル今日ニ於ケル破産ト相去ルヲ遠カラ
ナル可シ
是ニ於テ議長決議ヲ取ラントセシニワットソン氏マク
ルソン氏ニ問フニ輸出ノ輸入ニ超過スルノ権重能ク紙
幣ノ價格上ニ影響ヲ來タスナキヤヲ究計スルニ足ルノ

十分ナル時日經過シタリト思惟サル、乎否ヲ以テセリ
而ノワツソン氏曰ク僅ニ過シ二ヶ月間ノ商況ヲ取テ買
易平均如何ヲトスル如キ大早計ノ見ヲ下タス能ハス余
ハ從來内國商トノ取引ノ冷熱如何ニアリシヤ又今後如
何ナル狀況ヲ呈スルヤヲ熟考シ以テ貿易ノ平均如何ヲ
談セラレシヲ諸君ニ欲スルノミ
マクフ井ルソン氏之ニ答テ曰ク余ハ此問ノ最モ良キ答
ハ満場一二諸君ノ外各自ノ經驗ニ訴フルヨリ他求ム可
キナキヲ知ル然ルニ獨リ恐ル諸君ノ多数ハ從來ニ比シ
テ此過ル二ヶ月間ニアリテ取引約條清ノ件數頗ル減少
セシヲ知ラル、アルヲ實ニ前日内國商ニ引渡シタル物
品ハ依然倉庫ニ積存スルモノ少クナラス一日内國商余
ニ語テ謂ラノ昨今紙幣ノ下落劇々シキ故當分取引ヲナ

ス能ハス只空シク手ヲ束テテ其價格ノ騰貴センヲ待
ツノミ、故ニ政府若シ紙幣ヲ消却スルニ足ル判然タル
抵當ヲ以テスルカ左ナクハ紙幣ニ割引ヲ以テスルカ此
ニ途ノ内一ツヲ実行セハ大ニ今日ノ急ヲ救済スル疑ヲ
容レサルナリ
ワツソン氏ハ今マクフ井ルソン氏カ陳述セラレタル
ニ就キ政府業已ニ計畫セル所アリ、トヲ演シ正金引換
公債証書發行ノ例ヲ舉ケラレタリ是ニ於テ議長議論ノ
盡キタルヲ見決議ヲ取リシニワツソン氏ノ外満場同意
ヲ表シタリ



九

九
九